

リンドウの適正窒素施肥量

【1 成果の内容】

- (1) 極早生品種「いわて夢あおい」、早生品種「恋りんどう」、晩生品種「いわて夢のぞみ」の定植年の窒素施肥量を標準の半分(5kg/10a)に減らしても越冬前及び越冬後の生育量は同等です(図1)。
- (2) 定植2年目の窒素施肥量を標準の半分(10kg/10a)に減らしても「いわて夢あおい」、「いわて夢のぞみ」は同等の生育です。「恋りんどう」は草丈、花段数が若干標準より減少しますが、草丈80cm、花段数5段は確保できます(図2、3)。
- (3) 定植3年目以降は早晩生により異なります(図2、3)
 - ア 極早生品種は窒素半量を続けても標準と同等の生育が確保できます。
 - イ 早生品種は窒素半量を続けると5年目には草丈が標準を下回ってきます。
 - ウ 晩生品種は窒素半量を続けると生育が劣ってきます。標準の窒素施肥を継続することで、年数を経ても生育や切り花品質が安定します。
- (4) 以上の結果から窒素施肥量を表1にまとめました。

表1 リンドウの窒素施肥量 (成分 kg/10a)

	定植年	2年目	3年目以降
極早生品種	5	10	10
早生品種	5	10	15
晩生品種	5	10	20
(参) 標準施肥	10	20	20



窒素 0kg 5kg 10kg 15kg

図1 「いわて夢のぞみ」定植年の生育

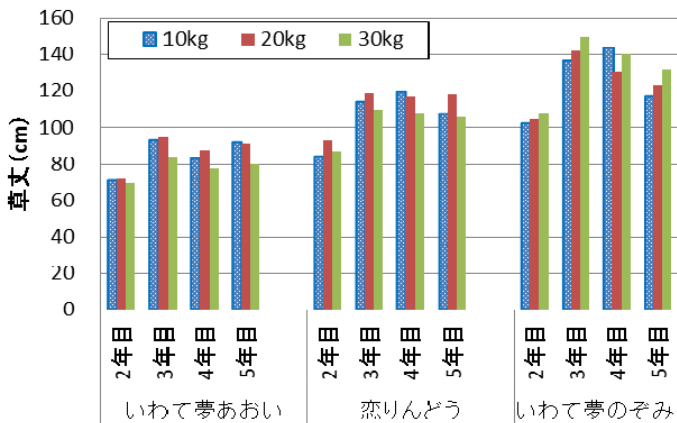


図2 窒素施肥量(kg/10a)と草丈

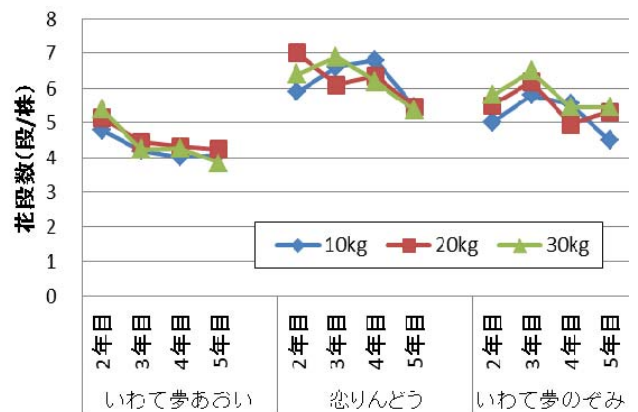


図3 窒素施肥量(kg/10a)と花段数

【2 留意事項】

- (1) 排水不良圃場や地力の低い圃場では減肥により生育が劣る場合があるので、標準の施肥を行います。
- (2) 施肥方法は定植年は全面全層施肥、2年目はマルチ上のばら撒き、3年目以降はマルチ中央部を切り、床面にばら撒きで行っています。施肥量は通路も含む栽培面積当たりの量で示しています。
- (3) 農研センター圃場のみの試験結果です。